

特集

教育研究資金問題検討委員会シンポジウム 「数学と諸分野の連携が創出する数学研究」

数理と異分野の連携に向けた取組について

葛谷 暢重（文部科学省研究振興局融合領域研究推進官）

数学基礎論の産業応用

蓮尾 一郎（国立情報学研究所／株式会社イミロン）

ポスト量子社会が求める高機能暗号の数理基盤創出と展開

高木 剛（東京大学大学院情報理工学系研究科）

JST の研究支援事業（特に戦略的創造研究推進事業）について

坂上 貴之（京都大学大学院理学研究科）

現在、科学技術振興機構から数理科学者も応募が可能な研究支援が科研費に加えて存在しています。これらの研究では諸分野との連携により数学研究を推進し、それを諸分野の課題解決につなげると同時に、それを題材にした新しい数学上の課題などが提案され数学研究にも大きな刺激となっています。このような状況を受け、2024年度年会において教育研究資金問題検討委員会シンポジウム「数学と諸分野の連携が創出する数学研究」が開催され、JSTの支援を受けて研究を活発になさっている数学者や、数学者との連携により優れた研究を行っている他分野の研究者から、諸分野連携と数学の連携研究の成果、JSTの研究支援事業等が紹介されました。本特集では、講演者の方々に当日の講演内容を記事にさせていただき、会員の皆さまに改めてご紹介致します。